

泌尿器科

腫瘍性疾患を主体に、全ての臓器、疾患に対する治療を積極的に行っている。低侵襲治療が手術における大きなテーマであり、平成 25 年より行っているロボット支援前立腺摘除術は 200 例以上の執刀件数となった。修復しうる直腸損傷の 1 例以外、重大な合併症は発生しておらず、高リスクの前立腺癌症例に対しては拡大領域でのリンパ節郭清を併施、正確な病期診断と、微小転移病変の摘出による予後改善に努めている。逆に低～中リスク、若年の症例については、男性機能温存の術式に積極的に取り組んでいる。平成 28 年からは小径腎癌に対するロボット支援腎部分切除術も開始しており、現在までに約 65 例の手術を重大なトラブルなく実施した。腎部分切除術にロボット支援手技を取り入れることで、より精密かつスピーディな腎実質切除が行えるようになり、腎機能温存、制癌性、合併症の点で多くのメリットを享受できている。令和 4 年からは腎盂尿管移行部狭窄症に対するロボット支援腎盂形成術、腎細胞癌、腎盂尿管癌に対するロボット支援腎摘除術、腎尿管全摘除術も実施可能となり、広範囲の泌尿器科疾患に対し、ロボット支援手術を適応できる体制を整えている。

腎、副腎における、その他の良性悪性疾患に対しても積極的に体腔鏡（腹腔鏡、後腹膜鏡）手術を採用しており、現在腎摘除術、副腎摘除術、腎尿管全摘除術の 8 割以上が体腔鏡アプローチとなった。大径の腎悪性腫瘍、広範なリンパ節郭清を要する腎盂尿管癌に対しては安全性、制癌性を重視し、開腹での手術を実施している。

悪性腫瘍の長期手術成績については、平成 2 年以降の腎癌・腎盂尿管癌・膀胱癌・前立腺癌・精巣癌に対する術後遠隔成績（5 年生存率）を集計し、ホームページに開示している。

高齢者の排尿障害の大きな原因の一つである前立腺肥大症に対し、低侵襲な手術治療として平成 28 年よりグリーンライトレーザーを用いた経尿道的前立腺蒸散術（PVP）を開始した。グリーンライトレーザーを用いた蒸散術は出血が極めて少ないのが特徴であり、全身状態の不良な患者や、抗凝固剤を使用している患者においても、他の術式に比し安全に手術を行うことができている。現在までに約 100 例の手術を実施し、排尿状態についても術後、良好な改善が得られている。

投薬治療に抵抗する難治性過活動膀胱に対する外科的治療として、平成 29 年より仙骨神経を刺激する電極の埋め込み手術（SNM）、令和 2 年度からは、より侵襲の少ないボツリヌストキシンの膀胱内注入療法を開始している。QOL への影響が強い本疾患に対し、効果的な治療をより多くの患者に提供できるようになることが期待される。

腎臓内科（内科系）との密な連携のもと、末期腎不全関連の診療（生体腎移植、腹膜透析）も積極的に行っている。生体腎移植手術は平成 18 年から 22 例に実施されている。

a. 体制

スタッフ

令和 3 年 3 月に舟橋医師が異動退職となり、同年 4 月より後期研修医（のち医員に昇格）として西崎医師が着任した。現在主任部長 1 名、部長 1 名、医員 3 名の計 5 名の体制で診療に従事している。

氏名	役職
岡田 卓也	(主任部長)
宗田 武	(部長)
池内 亮介	(医員)
小池 修平	(医員)
西崎 広典	(医員)

b. 診療実績

総外来患者数	14,710 人（令和 2 年度 14,479 人）
総新規入院患者数	567 人（令和元年度 581 人）
総手術件数	545 件（令和元年度 516 件）

日本泌尿器科学会専門医教育施設（認定施設番号 860497）
 京都大学広域連携専門研修プログラム連携施設
 兵庫医科大学泌尿器科専門研修プログラム連携施設
 紀州伊勢泌尿器科研修プログラム連携施設

カテゴリ	手術名	件数	(うち体腔鏡下)
副腎	副腎摘除術	6	(5)
腎	腎摘除術	10	(10)
	腎部分切除術	21	(ロボット支援 21)
	腎盂形成術	1	(1)
	経皮的腎瘻増設	7	
	その他	7	(1)
	生体腎移植術 移植腎用腎採取術	1 1	(2)
腎盂・尿管	腎尿管全摘術	9	(9)
	経尿道的尿路結石除去術	50	
	経尿道的尿管ステント留置術	58	
	尿管ステント交換術	114	
	尿管鏡	21	
	その他	9	
腹壁	CAPD カテーテル留置術	5	(5)
	CAPD カテーテル抜去術	3	
	尿膜管摘出術	3	
後腹膜	後腹膜腫瘍切除術	1	
膀胱	経尿道的膀胱腫瘍切除術	91	
	膀胱全摘術、尿路変更	7	
	経尿道的膀胱結石除去術	7	
	内視鏡的止血術	8	
	膀胱水圧拡張術	1	
	その他	8	
前立腺	ロボット支援前立腺全摘術	17	(ロボット支援 17)
	経尿道的前立腺レーザー手術 (PVP, HoLEP)	35	
	経尿道的前立腺手術 (TUR-P)	4	
	経会陰式前立腺生検	9	
	その他	4	
尿道	内尿道切開	2	
	その他	2	

陰茎・陰囊	環状切除術・背面切開術 陰茎部分切除術 陰囊水腫根治術	3 1 4	
精巣	(精索捻転症) 精巣固定術 精巣摘出術	3 2	
その他		10	
合計		545	71 (腹腔鏡 33, ロボット支援 38)

c. 学会・講演・著作その他の研究活動

【学会】

- 1 岡田卓也
80 歳以上の高齢前立腺患者の検討
第 109 回日本泌尿器科学会総会 2021/12/9 (横浜)
- 2 池内亮介
隆起性病変のない尿細胞診異常患者の追跡調査
第 109 回日本泌尿器科学会総会 2021/12/7 (横浜)
- 3 宗田 武
難治性過活動膀胱に対する抗コリン薬と $\beta 3$ 作動薬併用療法の検討
第 28 回日本排尿機能学会 2021/9/9 (松本)

【研究】

- 1 尿路上皮癌に対する免疫チェックポイント阻害薬治療の多施設共同観察研究
(小池修平、岡田卓也、池内亮介、宗田 武)
- 2 ホルモン感受性転移性前立腺癌の治療実態に関する前向き研究
(池内亮介、小池修平、宗田 武、岡田卓也)
- 3 前立腺肥大症に対する経尿道的レーザー蒸散術 (PVP) の有用性に関する検討
(小池修平、池内亮介、宗田 武、岡田卓也)
- 4 難治性過活動膀胱に対するボツリヌス毒素膀胱内注入療法の有用性の検討
(宗田 武、小池修平、池内亮介、岡田卓也)
- 5 小径腎癌に対するロボット支援腎部分切除術の安全性の検討
(岡田卓也、小池修平、池内亮介、宗田 武)
- 6 前立腺癌に対するロボット支援前立腺全摘術の臨床的有用性の検討
(宗田 武、小池修平、池内亮介、岡田卓也)
- 7 前立腺癌に対する Ra223 製剤の有用性に関する検討
(池内亮介、小池修平、宗田 武、岡田卓也)
- 8 過活動膀胱に対する投薬状況の検討
(宗田 武、小池修平、池内亮介、岡田卓也)